

平成 27 年度 学校評価 について

学校番号	6	学校名	滋賀県立大津高等学校
校長名	古 我 幸 二		

1 評価方法について

領 域	評 価 方 法 ・ (実施月)	
	自 己 評 価	学 校 関 係 者 評 価
1 学校経営	○ 12月に実施した保護者向けアンケートと生徒向けアンケートの結果を教員に示し、自己評価を行った。	○ 2月に実施した学校評議員の会で、自己評価の結果を学校評議員に示し、保護者向けアンケート結果、生徒向けアンケート結果を参考に、協議を行い、評価を決定した。
2 学習指導		
3 生徒指導		
4 進路指導		
5 特別活動等		
6 学校図書館		
7 保健・安全指導		
8 人権教育		
9 環境教育		
10 事務・管理		
11 その他学校の取組み		

2 学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取組み等）

- 1 学校経営… ホームページで本校の教育活動や生徒の諸活動の成果を積極的に発信することができた、また、地域と連携した活動も増加している。今後も、ホームページを活用し、保護者や地域に情報発信するとともに、地域と連携した活動をさらに充実させたい。
- 2 学習指導… アンケート結果から、生徒の家庭での学習が充分でない傾向が見られる。各教科や学年等と連携しながら、能動型学習を基盤とした授業改善に努めることにより、家庭での学習習慣を身につけさせる取組を推進する。また、学習支援プログラム（進学補習）を関係分掌が学年や各教科と連携しながら主体的に取り組むことにより、学校全体のものとする。
- 3 生徒指導… 集団生活のルールを確立するための遅刻指導や頭髪指導を今後も継続する。生徒会執行部の企画が円滑に運営されるよう、生徒会係が執行部と教員のパイプ役を果たし、生徒会の自主性を引き出す指導を行う。いじめに対して速やかに対応する体制が機能し、初期の段階で収束することができた。
- 4 進路指導… 保護者アンケートで「進学に関する情報がもっとほしい」という要望があった。近年の生徒の合格実績を踏まえ、進学に関するわかりやすい情報提供についていっそう努める。
- 5 特別活動等… HR活動、部活動については生徒・保護者ともに評価が高い。次年度も分掌と学年が連携して特別活動に取り組んでいく体制を維持していく。
- 6 学校図書館… 昨年度に引き続き読書習慣を身につけさせる活動が「C」であった。一方で、施設の有効利用についての評価は自己評価、学校関係者評価ともに「B」で、やや改善された。詳細は、「「C」評価の結果分析と具体的改善策について」で後述する。
- 7 保健指導… 高等学校巡回チーム派遣事業の指定を受け、特別支援について多くの知見を得ることができた。今後、発達に課題のある生徒の支援についていっそう研修を重ね、組織的な対応ができるよう、支援体制を充実させる必要がある。
- 8 人権教育… 本校独自の100分LHRでの人権教育の取組については、生徒・保護者・教員ともに評価は高い。常に改善を図りながら道德教育の視点もあわせて今後も取り組んでいく。

- 9 環境教育… 各教科の指導において、環境問題との関連付けを意識している。今後も日常の生徒指導、清掃指導においても身近な環境指導を行っていく。
- 10 事務・管理… 本校の施設・備品は老朽化しているものが多いが、教職員と事務職員が緊密に連携し、施設・備品の修繕、更新が適切に行われ、生徒に快適な学習環境を提供していくように努めることができた。
- 11 その他学校の取組み… 普通科と家庭科学科の生徒同士が切磋琢磨しつつ、お互いに良い影響をおよぼしながら学校生活を送ることができている。今後も学校行事等で互いが競い合える場面づくりを進めていく。

#### 「C」評価の結果分析と具体的改善策について

##### ・結果の分析

昨年度に引き続き「学校図書館」の領域で、「読書習慣を身につけさせる活動」が自己評価、学校関係者評価ともに「C」であった。しかし、「施設の有効利用」についての評価は自己評価、学校関係者評価ともに「B」で、昨年度の「C」評価に比してやや改善されている。これは、今年度新たに学級文庫が創設される等の新しい取組が始まったことが一定の成果をおさめているものと考えられる。

##### ・具体的改善策

学級文庫創設の取組は2学期に始まったばかりであり、今後その成果がいつそう現れることが期待される。一方で、スマホ利用時間の多さが読書習慣の定着を阻害していると考えられることから、生活面の指導を含め、教科においてもいつそう積極的に図書館を活用することや、図書館を活用し探究的な活動に取り組むなど、読書習慣の定着に結びつく諸活動に積極的に取り組んでいく。